

年頭所感

秋田県中小企業団体中央会

会長 藤澤 正義



新年あけましておめでとうございます。平成29年の年頭にあたり、会員組合及び組合員企業の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また、日頃より本会の事業運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、北海道新幹線の開業、リオオリンピック・パラリンピックで過去最多となる41個のメダル獲得、世界平和に向けてオバマ大統領の広島訪問や安倍首相のハワイ真珠湾訪問など明るい話題が多く聞かれ、国内経済をみても安倍政権の下で着実な経済対策が実を結び、20年以上にわたるデフレからの脱却を図るとともに、着実に景気回復に向かった1年でありました。

しかし、少子・高齢化の進展や原燃料価格の乱高下、建設業・運輸業・自動車整備業をはじめとした一部業界での深刻な人手不足等に加え、中国をはじめとする新興国の景気減速や、英国のEU離脱表明、韓国における政治経済の混乱、米国大統領選でのトランプ氏勝利による様々な政策転換の可能性など我が国と密接な関係にある諸外国の情勢により、私ども中小企業・小規模事業者の経営は予断を許さない状況にあります。

実際に、本会の情報連絡員による景況調査の結果でも、全体のDI値は年間を通じてマイナス基調から抜け出せず、今後回復する兆しが見えない状況が続いております。

このような中で、本会では今年も秋田県中小企業振興条例の理念の下、全会員組合の皆様への巡回訪問を通じて、活動指針である「強い組合・強い企業づくり」実現のため、昨年施行された「中小企業等経営強化法」に基づく経営力向上計画の認定に向けた積極的な支援を展開するとともに、本会が秋田県地域事務局として平成24年から延べ391社に対して36億7,105万円の交付を行っている「ものづくり補助金」を継続して実施してまいりますので、組合員企業の皆様におかれましては是非ともご活用頂きたいと考えております。

さらに、昨年本会の支援のもと、秋田の代表的な特産物である「いぶりがっこ」の製造団体等が連携して秋田県いぶりがっこ振興協議会(仮称)を設立し、地理的表示保護制度(GI)の取得を目指す取り組みが本格的に始動しましたが、今年は県内の多様な地域資源に目を向け本県の特性を生かした多くの地域ブランドの取得と強化を目指し、本県農業と加工・流通業との連携をますます加速させる取り組みを行ってまいります。

さて、今年は「酉年」ですが、十二支や干支の考え方で酉(トリ)は「取り込む」に繋がるといわれ、「運氣」や「お客様」を取り込めるため「酉」のつく年は商売繁盛に繋がると考えられているほか、「酉」の由来に「果実が極限まで熟した状態」という言い伝えがあることから「物事が頂点まできわまった状態」が酉年だと言われております。

会員組合および組合員企業の皆様におかれましても、運氣や情報を積極的に取り込み、商売繁盛の1年となりますことを祈念しております。

結びになりますが、会員組合および関係各位にとりまして本年がご健勝で飛躍の1年となることを心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭所感

秋田県知事

佐竹 敬久



明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、シニア世代の精鋭が熱戦を繰り広げた「日本スポーツマスターズ秋田大会」の開催、県内の3行事を含む「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産への登録は、本県の魅力を国内外に発信する契機となりました。

また、産業分野では、成長が見込まれる航空機や自動車、再生可能エネルギー、医療福祉、情報関連産業を重点分野として、中核となる企業の誘致や県内企業の参入に積極的に取り組み、新たなビジネスチャンスが広がった一年でもありました。

中小企業団体中央会では、秋田に在りながらも確かな技術や素材を武器にして、首都圏でのメガマーケットにチャレンジする「東京でのお土産開発事業」や、本県特産の漬物いぶりがっこのブランド確立を目指す「組合連携コーディネート事業」などにより、県産品の知名度向上や販路拡大につなげるとともに、多様なニーズに応じた専門家派遣など、業界全体の活力向上と組合企業の支援に御尽力をいただきました。

さて、県では、これまで「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」や「あきた未来総合戦略」に基づき、産業振興による仕事づくりや移住・定住対策、少子化対策等、人口減少の抑制と地域の活性化を図るための攻めの取組を集中的に展開してきたところでありますが、今年は「第2期プラン」が最終年度を迎え、「総合戦略」は折り返しの年となります。

これまでの成果と課題、社会経済情勢の変化等を踏まえながら、産業振興や人材育成とともに、県民の生活を支える基盤づくりなどの取組を一層加速してまいりたいと考えております。

県内の産業界が結集した中小企業団体中央会の皆様には、共同事業による生産性の向上や、海外展開も視野に入れた取引交渉力の強化、組合間連携の推進などに取り組んでいただきたいと思います。

また、過去最高水準に好転した雇用情勢を背景に、大都市圏では本県以上に雇用の売り手市場が進み、県内企業との人材獲得で競争が激化しておりますが、将来の秋田を支える人材確保は重要な課題でありますので、引き続き、多くの若者の県内定着にご協力をお願いいたします。

結びに、新しい年が皆様にとって、希望に満ちあふれた飛躍の年となりますようご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

年頭に当たって

全国中小企業団体中央会

会長 大村 功 作



明けましておめでとうございます。平成29年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平成28年を振り返りますと、英国のEU離脱表明、米国のトランプ氏の大統領戦の勝利など様々な事象による国際経済の不透明感が増す中、国内では、少子高齢化・人口減少による国内市場の縮小と実需全体の収縮や、熊本、鳥取、福島での相次ぐ地震、北海道や東北地方を襲った台風・豪雨による天災などもあり、多くの中小・小規模事業者は、非常に厳しい経営を余儀なくされ、景気回復の実感が得られない年でした。

他方、中小企業等経営強化法の施行、消費税法の改正による引上げの実施時期と複数税率制度導入の延期、TPP協定整備法の成立、IoTやAIをはじめとするデジタル化など、中小・小規模事業者を取り巻く環境は、想像を超える速さで変革しています。

政府は、「ニッポン一億総活躍社会」を閣議決定し、安倍総理の強いリーダーシップの下、「働き方改革実現会議」等において、同一労働同一賃金などの非正規雇用の処遇改善、賃金引上げと労働生産性の向上、長時間労働の是正、転職・再就職支援、人材育成などの改革に取り組んでいますが、私も同会議のメンバーとして意見を申し上げてきたところです。人手不足が深刻化していますが、元気な中小・小規模事業者は、多様な人材を育成し、活用していることを実感しています。

こうした中、昨年10月19日に石川県金沢市のいしかわ総合スポーツセンターで開催した第68回中小企業団体全国大会では、組合の力に改めて意識を集中し、中小企業の生産性向上の底上げと、本業の稼ぐ力の強化に向けて全力で取り組むことを確認いたしました。また、11月29日には、安倍総理をはじめ多数の来賓をお迎えし、創立60周年記念式典を開催することができました。人間で言えば「還暦」であり、平成29年は、新たなスタートを切るつもりで、諸課題の解決に全力で取り組んで参ります。

まずは、組合の付加価値拡大への支援です。「ありきたり」の組合活動では価値はありません。組合の先(組合員)の先(顧客)の先にあるニーズを把握して、組合ならではのサービスの提供を図っていくことが大事です。また、組合事務局の事業承継も急務と考えています。地域社会との連携＝絆を深め、地域の経済を支え、挑戦する中央会としての存在感を高めていきます。

本年が、中小企業組合と中小・小規模事業者にとって充実した1年となりますことを心よりご祈念申し上げます。年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。

平成29年元旦

年頭所感

株式会社商工組合中央金庫

秋田支店長 奥田峰利



明けましておめでとうございます。平成29年の年頭にあたり、秋田県中小企業団体中央会並びに会員組合、組合員企業の皆さまに、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年のわが国経済を振り返りますと、良好な雇用環境が続いたものの、消費者マインドの悪化から個人消費には弱さがみられました。海外経済の減速懸念から輸出は低迷し、設備投資も弱い動きとなりました。また金融市場の動揺を受け、回復には停滞感がみられました。

当金庫の「中小企業月次景況観測」によると、景況判断指数は好転・悪化の境目となる50をやや下回る水準で一進一退の動きとなり、中小企業の景況感は概ね横ばいで推移しました。一方、雇用面では調査開始以来の最高値を更新するなど、中小企業の人手不足感が高まっており、労働需給逼迫による人件費負担の増加が懸念されています。

このような環境のもと、様々な要因で業績や資金繰りに不安を抱える中小企業の皆さまに対し、組織をあげてセーフティネット機能の発揮に取り組み、中小企業の皆さまの資金繰りや経営の安定化へのサポートを通じて、地域の雇用維持・経済の安定に貢献できるよう、取り組んでまいりました。また、中小企業の皆さまの企業価値向上のため、ものづくり補助金や中小企業等経営強化法をはじめとする国の設備投資促進施策と連携するとともに、海外展開を行う中小企業や地域経済への波及力が高い中核企業、地域資源の活用に取り組む中小企業や中小企業組合の皆さまに対し、地域金融機関と協調しながら、リスクマネーを供給してまいりました。また、幅広い業種・業態において事業再編や構造改革の動きが加速することが見込まれる中、「M&A」、「事業承継支援」、「ビジネスマッチング」等への取り組みを強化してまいりました。

さて、昨年8月に秋田支店長に着任して以来、秋田県の素晴らしさ、県内の皆さまの団結力、実行力、地域に対する思いを強く感じています。本年も、引き続き皆さまからのご相談に対して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、商工中金の強みであるネットワーク機能、総合的な金融機能を結集し、グループ一体となって皆さまの成長に取り組めます。「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、これまで以上に皆さまから信頼され、お役に立てるよう、支店職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜われますようお願い申し上げます。

皆さまのご繁栄とご健勝をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。